大地よ 蒼くなれ

寺沢武一

非売品

ムギュー

じっちゃん
あいつは
だれや？
初めて
見るやつやで

ウイラだ
半年くらい前に
ふらっと
この森へ
現れよった
この辺は
食料も豊富だで
住みついたの
じゃろう
言葉は
しゃべられ
へんのか？
ああ……
分からん
らしい

なんや
アホな
やっちゃな

これ！ぺぺ
言葉が
しゃべれん
からといって
バカには
するもんじゃ
ないぞ

ギョッ！
こっちを
見よった

じっちゃん
あいつ
わいらの後
ついて
来よるで
まあ
いいじゃ
ないか

クワッ　クワッ

よせ　そいつは　喰えん　キノコだ　喰うと　笑い死に　するぞっ

けったいな
やっちゃな……

うひゃっ
こいつ
生きて
おるでっ

ウ〜〜
ウ〜〜
心配はいらん
ペペ
こいつはわしらに
害はあたえん

こいつはな
ただ……
こうして一日中
ゆっくりと
回りつづけとる
だけじゃよ
へえ…でも
何のために!?

そいつは
分からん…
こいつは
話を
せんからな

いつ頃からごろ
ここに
いるんだろう…

さあな
いつ頃
からかな……
わしにも
分からんよ

なんだ……
あの音は!?
あっちの
方から
聞こえよったで
じっちゃん!!

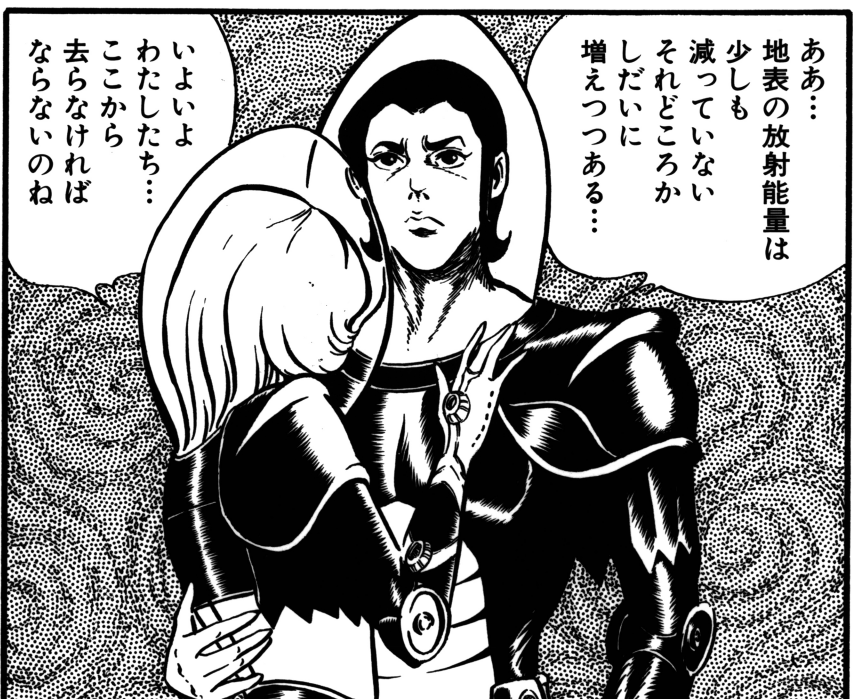
よし
行ってみよう

あぶな
かったな
もう少しで
こいつに
殺される
ところだった!
驚いたわ
急に飛び出して
来るんですもの

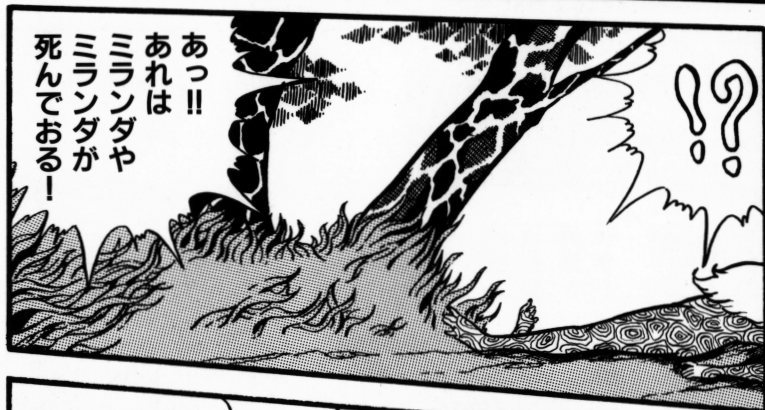
でも
気味が悪い
生物ね……
ああ
こいつの血管にも
オレたちと同じ
人間の血が
流れていると
思うと
はき気がするよ！

それにしても
地表は
いつ来ても
ゾッとしない…
地表の
放射能量の
調査という
仕事がなければ
こんな所は
来たくも
ないんだが…
サコン……

やはり
だめだったわね…

……

ああ…
地表の放射能量は
少しも
減っていない
それどころか
しだいに
増えつつある…
いよいよ
わたしたち…
ここから
去らなければ
ならないのね

じっちゃん
あいつら
何やねん!?
今日は
色々と
変わったやつに
会ったけど
あの二ひきが
いちばん
変わっとるわ
あれか…
あれは
人間じゃよ

もっとも…
わしらの祖先も
あの者たちと
同じく
人間だったの
じゃがな
あいつらは
地下に住んで
おるのじゃが…
時々地上へ
ひょっこと
現れよる

!?
あっ!!
あれは
ミランダや
ミランダが
死んでおる!

こらっ
大声を
出すなっ!
あの人間が
殺ったんだろう
見つかると
わしらも
殺されるぞっ!

なぜや
なぜあいつら
ミランダを…
ミランダとわいは
友達なんや
ミランダは
木の実しか食べへん
やさしいやつ
やったのに

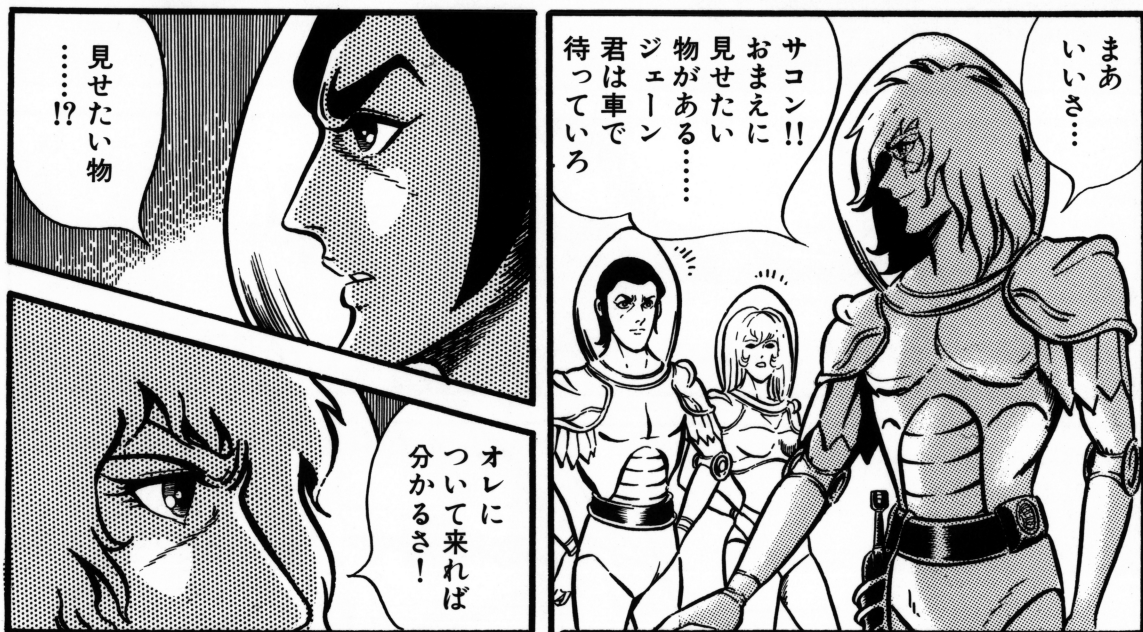
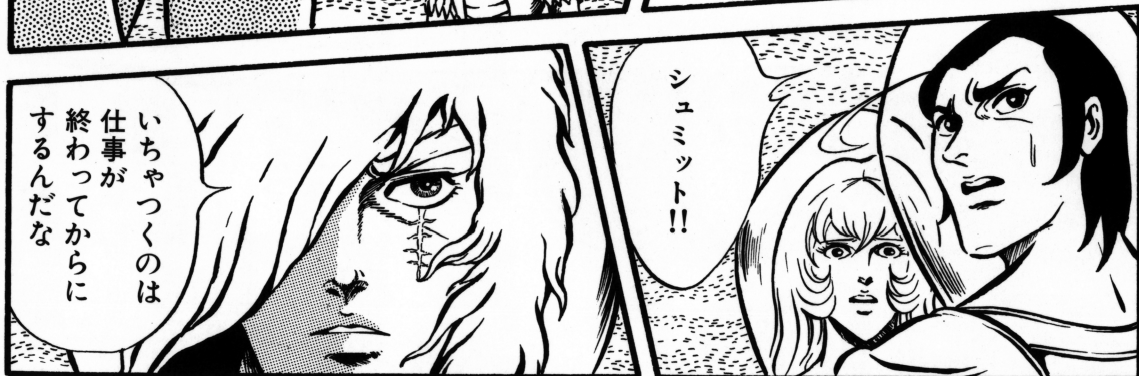
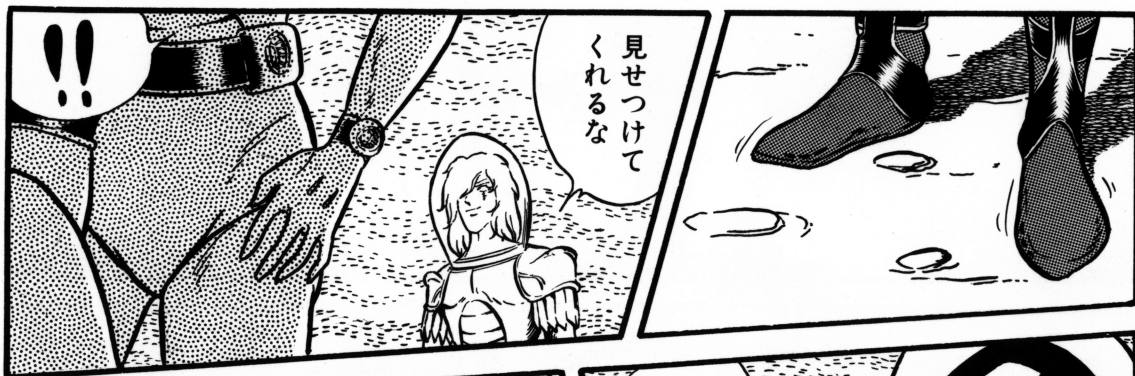
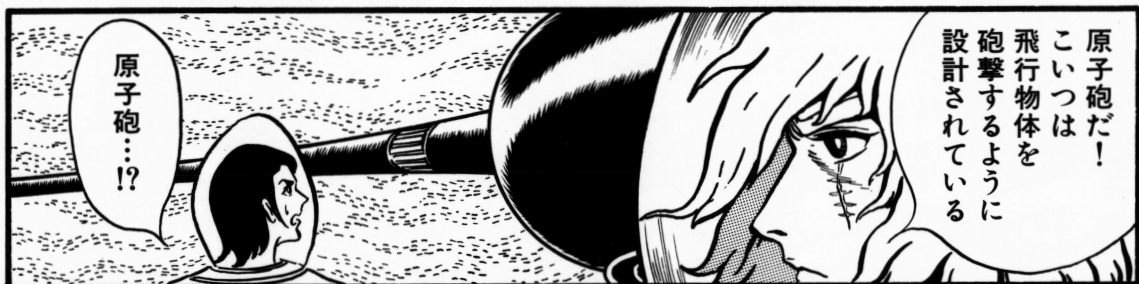
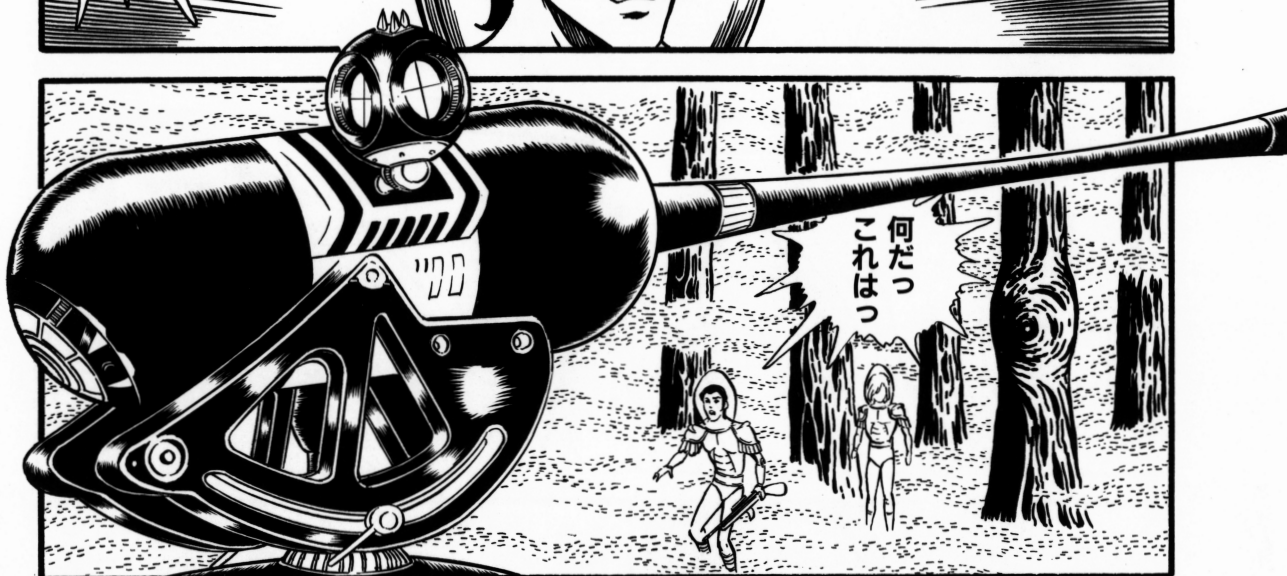
!!
見せつけてくれるな

シュミット!!
いちゃつくのは仕事が終わってからにするんだな

おおっ

何だっ これはっ

原子砲だ！ こいつは 飛行物体を 砲撃するように 設計されている
原子砲…!?

どうやら こいつは 第三次世界大戦の 遺物らしいな こいつは あの核爆発にも たえてのこったのさ
恐ろしい兵器だ こいつの探知機 およびスコープに とらえられたら 一瞬にして 灰にされちまうぜ
こいつは 生まれて以来 その半永久的な 原子力 エネルギーで…… ずっと敵を 待ちつづけて きたと いうわけだ

おまえは
エンジニア
だったな
解体できるか?
ああ
20分も
あればな…
……
!?

サコン!!
なぜ撃った

われわれに
危害を
およぼさぬかぎり
ミュータントの
射殺は禁じられて
いるはずだ
フン!!
オレはこいつらが
そばに寄って
来るだけで
さむけが
するもんでね

おまえは
分かっているのか
そいつは
オレたちと同じ
人間なんだぞ…
人間だと…!?
笑わせるな
こいつはただの
けがらわしい
バケモノだっ

おまえは
こいつら
ミュータントが
憎くないのか
オレたちは
この気密服から
一歩でも出れば
二、三分で
あの世行きだと
いうのに……
こいつらは
ゆうゆうと
地上を歩き
まわっている!!
まるで…
この地球が
自分たちのもので
あるかのようにな!

こいつらは
オレたちの地球を
奪ったのだ
では…
その地球を
破壊したのは
誰だったのだ
それも
人間じゃないか
われわれ人間が
やったんだ!!
こいつは
原子砲の
いわば目さ
これがなければ
この砲は
ただのガラクタも
同然だ

よし
シティへ
帰るぞ
!!
あれは
……!?
まさか…
いや…
まちがいない…
……

じっちゃん
あいつら
行きよったで！
かわいそうに…
ペロペロ
!?
あっ!!

おどろいたわ
なんやねん
あいつは……!?
ひえーっ
あいつ
自分で
自分の体を
なおしよるでっ

西暦3021年
22世紀初めに
起こった核戦争は
地球上の
すべての生物を
破滅においやった

わずかに
生きのびた人類は
地下深く
都市を築き
その恐るべき
放射能を避け
ほそぼそと
文明を保っていた

そうか やはりだめか…
はい この数世紀というもの 放射能量はいっこうに減る気配を見せません
長官 われわれの地下都市の放射能防御壁も…
すでに放射能に蝕まれてきました もう限界ですな
しかし… なぜだ…なぜ 放射能は減少しようとしないのだ
われわれは数世紀の間… ふたたび地上に出る日をただそれだけを待ちつづけてきたというのに
わたしたちは地球を汚した… そのむくいを受けたのさ!!
カチッ
むくい!?

そしてわれわれがふたたび見た地上には…まったく異質な別な世界が出来上がっていた

動植物は放射能大気を呼吸し放射能水を生命の糧とする

彼らにとって放射能はもはや無害なもの いや…今や地球の自然界の基盤とさえなっているのだ

調査の結果
もはや地表の
放射能は
消える望みが
ないと判明
しました

くわえて
わが地下都市の
放射能防御壁も
もはや
その浸入を
くい止めることが
出来ません

よって
R計画は
実行されます

われわれは
この地球を去り
ケンタウルス座
α星へ植民
することに
決定しました

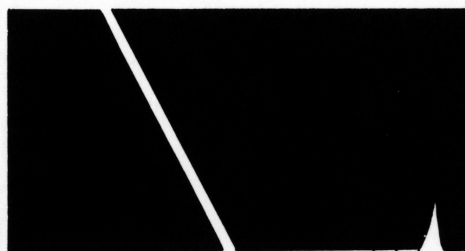
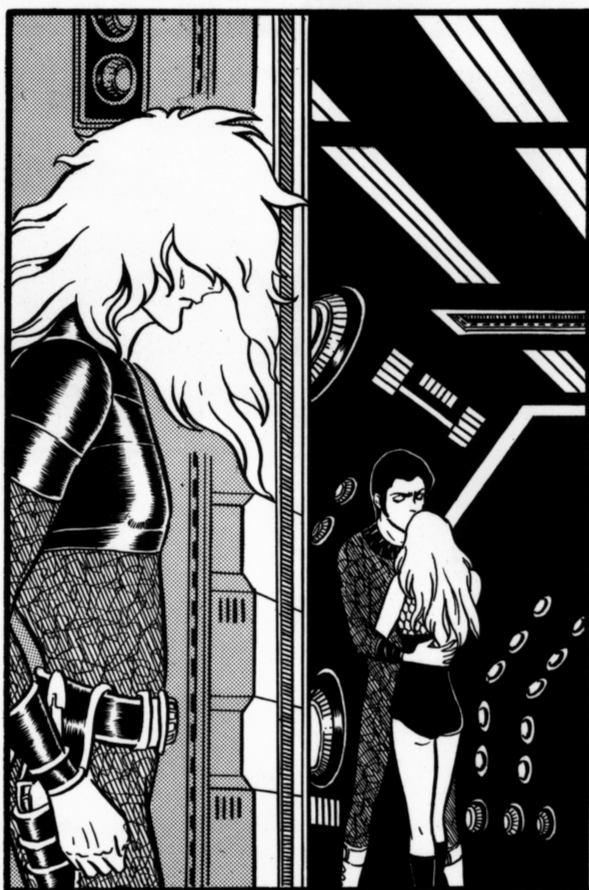
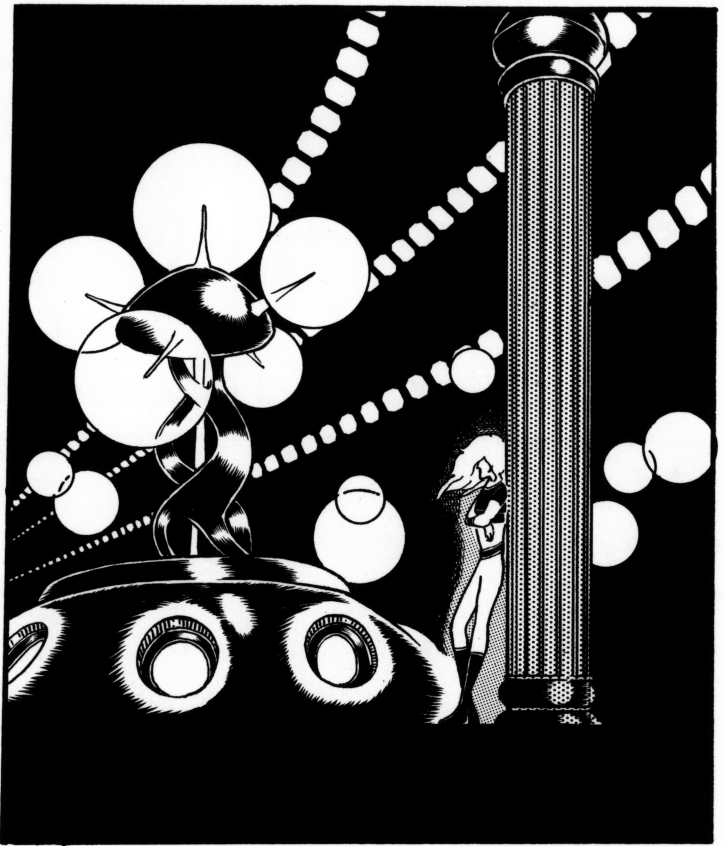
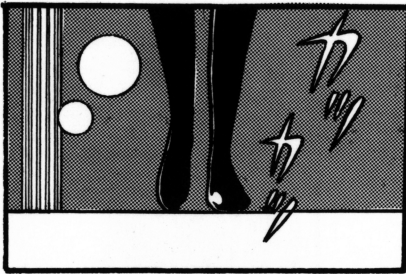
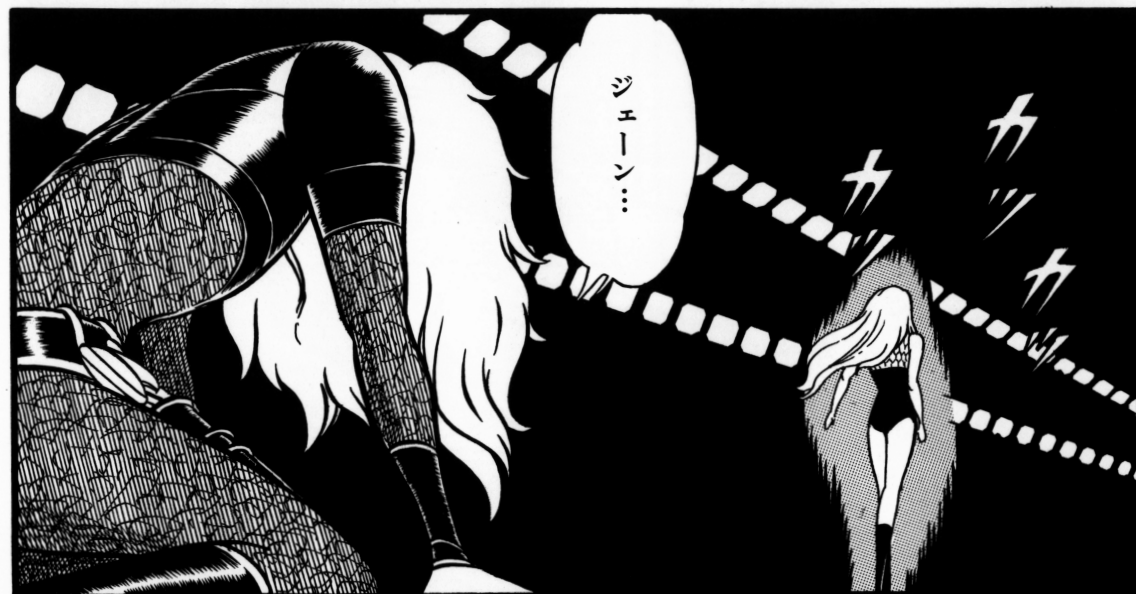
なお
出発の日時など
計画の子細に
ついては…

いよいよね…
サコン

わたしたち
この地球を
すてるのね…
さびしいわ
さびしい？
ぼくはかえって
せいせいするね
新しい星で
新しい生活を
するんだ!!
こんな
くさった
地球などに
未練はないさ！

サコン……
わたしを
愛している？

もちろんさ
ジェーン
愛してるとも

カッカッ
カッ
シュミット
どうしたの？
こんな所へ
呼び出して…
ジェーン
君は サコンを
愛しているのか？
なぜ
そんなことを!?
君は
サコンが
どんな男か
分かっていない!!

サコンは
自分のことしか
考えない男だ
あいつを
好きになっても
君がきずつく
だけだ
あなたには
関係ないわ
はなして
ジェーン…
君を愛している
うっ…
わたしが
愛しているのは
サコンだけよ…
……
ジェーン…
カッ
カッ
カッ

発射準備完了!!
これより
秒読みに入ります
ブースター
始動!!
発射10秒前
9
8
7
6
5
4
3
2
1
0
発射!!

あなたにとって人類は…わがままなうぬぼれの強い息子だったでしょう

自らの力におぼれ兄弟である動物を殺しそしてあげくのはて…あなた…大地まで破壊してしまった

いまさら悔やんでも遅いのですね

しかしあなたの上にはこれから生きようとする新しい生命があります

みまもっていてやって下さい彼ら新人類たちを!!

なぜかな…
なぜオレは
壊さなかった
のかな……

フフフ…
知って
いたんだな
人間は大地を
去れないことを
母と子のように…

だが
望もう
大地よ蒼くなれ!!

……

空が…
光って…

いったい
何だったの
かな…

ペペ！
行くぞ
この森には
もうキノコが
なくなった

—END—

MFコミックス
COBRA読者プレゼント